

テーマ：「**全国一の定時制へ!**」(市立琴ノ浦高校 放送部)

(7/30, 8/2 放送分)

稲村 皆さん、こんにちは。尼崎市長の稲村です。さて、今回から、市内の各高等学校の皆さんが企画し、制作した番組を、順にお届けしていきたいと思います。

第1回目の今回、トップバッターを飾るのはどの高校でしょうか？

それでは、さっそくスタートです。どうぞ。

全員 全国一の、定時制へ!

彦野 皆さん、こんにちは。尼崎市立琴ノ浦高校放送部2年生の彦野彩乃です。

杉岡 同じく2年生の杉岡陸です。

山内 同じく2年生の山内玲音です。

杉岡 本日は、琴ノ浦高校の魅力をたっぷりと紹介したいと思います。どうぞよろしくお願いします。

彦野・山内 よろしくをお願いします。

彦野 さて、定時制高校と聞くと、あまり良くないイメージを持つ人も多いと思いますが、全日制高校とは違った取組みや、定時制ならではのものはありますか。

山内 本校では、定期考査の最後に「一般常識テスト」というものを行っています。

彦野 「一般常識テスト」とは、どのようなものですか。

山内 そのままですが、一般常識テストを行って、今の自分の学力を知る機会をつくっています。

彦野 なぜそのような取組みを行っているのですか。

山内 本校は、まともに学校へ行っていない生徒がたくさんいます。ですので、学力が全日制高校と比べ、全体的に低いです。足し算や引き算がまともにできない生徒もいます。しかし、だからといって諦めるのではなく、一から勉強をやり直したいと、殆どの生徒が思っています。それぞれが、自分のペースで、自分なりに学力を向上させていますが、進学や就職をする際に争うのは、全日制の高校生。どうしても筆記試験でつまづいてしまいます。そこで、進路指導部の先生が考えてくれたのが、この「一般常識テスト」です。

彦野 なるほど。実際そのテストを行って、何か効果はありましたか。

山内 一般常識テストは、テストが終わってすぐ、担任の先生が採点と解説をしてくれます。このテストで、自分の苦手な分野が明確になってきましたし、自分の学力は、まだまだ一般に達していないということを感じています。また、「早勉」というものも行っており、学校が始まる前に、自分の苦手な分野の勉強ができます。わからないところは、そのつど先生に質問し、すぐに解決することができます。

彦野 そんな取組みが行われているんですね。

他に何か取組んでいることはありますか。

山内 そのほかに、本校はボランティア活動にも力を入れています。

彦野 例えば、どのようなボランティア活動ですか。

山内 近くの幼稚園へ行き、一緒に遊んだり、幼稚園のお祭りのお手伝いをしたりします。

彦野 具体的に、どのようなことをするのですか。

山内 私も実際に、幼稚園へボランティアに行きましたが、私は小さい子が苦手で、接し方がわからなくて、同じボランティアに行った子にばかりまかせっきりでした。でも、小さい子は楽しんでもらえたみたいだし、少しは自分なりに教えることができたので、良かったです。

彦野 自分より小さい子に何かを教えたりするのは、とても良いことですね。すごく楽しそうな取組みですね。

山内 それだけではなく、募金活動も行っています。

彦野 募金活動？ どのような募金活動ですか。

山内 東日本大震災の募金活動です。集まったお金で、気仙沼の定時制高校にお花を贈ったり、本を贈ったりしています。

彦野 そうなんですね。素敵な活動ですね。街で大きな声を出すことに、抵抗はなかったのですか。

山内 最初は、本当に恥ずかしかったです。大きな声も出せないし、ただ募金箱を持って、立っただけでしたね。

彦野 なるほど。

山内 でも、通り過ぎて行く人が、「がんばってね」とか、「暑いのにえらいね」とか、たくさん声をかけてくれたんです。私も誰かの役に立っているんだと思ったら、すごく嬉しくて、もっと頑張ろうって思えたんです。そしたら、自然と大きな声が出せました。

彦野 すごくいい体験をしたんですね。だれかの役に立つということは、とても大切なことですね。

山内 はい。募金活動が終わった後も、すがすがしい気持ちになれました。本校では、募金活動だけではなく、この7月の末に被災地に行って、ボランティア活動を行います。希望する生徒だけが、数名の生徒が参加する予定です。

彦野 実際に現地へ行くんですね。琴ノ浦高校では、様々な体験ができるんですね。

他に力を入れている取組みはありますか。

杉岡 はい、あります。定時制高校ですが、本校は部活動にも力を入れています。

彦野 そうなんですね。でも、練習をする時間はあるんですか。

杉岡 基本的には9時10分に授業が終わるので、そこから10時までの50分間が、練習時間です。

彦野 たった50分だけですか。

杉岡 そうなんです。最近は、本気で部活をやりたい先生と生徒が増え、授業が始まる前の時間を利用して、練習をしています。また、土・日も積極的に練習をしています。

彦野 定時制の部活動は、土・日には練習をしないイメージがありますが、がんばっているんですね。主にどんな部活が、力を入れているのですか。

杉岡 運動部がメインですが、まずは男子バレーボール部です。この部活は、今年度、本格的に始動した部活ですが、この春の大会では地区大会を勝ち抜き、県大会に出場しました。

彦野 今年度から始動したのに、もう県大会に出場できたんですね。すごいです。

杉岡 そして、次に紹介するのがバスケットボール部です。男女とも本気でやりたい選手が集まった部活です。この春の大会、女子は県大会で準優勝しました。来年こそは優勝して、ぜひ全国大会へ出場してほしいです。

彦野 あと一歩でしたね。来年ぜひ、リベンジしてください。

杉岡 そして次はサッカー部です。立ち上げて3年目の部活ですが、琴ノ浦高校で一番部員が多く、一番活気のある部活です。

彦野 サッカー部には、県の代表に選ばれた選手もいるみたいですね。

杉岡 そして野球部。経験者と初心者が集まった部活ですが、全員が本気でボールを追いかけている、とても熱い部活です。

彦野 高校から野球をやり始めるのは、大変だと思います。顧問の先生も熱心なんでしょうね。

杉岡 そして今年度、全国大会へ出場する部活が3つもあります。

彦野 お、それは何ですか。

杉岡 バトミントン部、ソフトテニス部、剣道部です。この3つのクラブは、8月の全国大会へ兵庫県の代表として出場します。

彦野 昼間は働き、夜は勉強をし、そして空いた時間に部活動を練習するなんて、しんどいだろうに、よくがんばったんでしょうね。

杉岡 そうなんです。私たちは、全日制の生徒の皆さんと同じように、勉強も部活もがんばっています。しかし、メインで取り上げられるのは、いつも全日制の大会です。定時制の大会があることを、世間の皆さんは知っているのでしょうか。

彦野 どうでしょう。学校の数やレベルが、全日制と定時制では大きく違います。どうしても全日制の学校に注目してしまうのは、仕方のないのかもしれないね。

杉岡 はい。仕方のないことだと思います。でも、私たちも、試合で勝つために必死に練習をし、試合の前日は、緊張して眠れなくなったりもします。もっと定時制の大会を、色んな人に知ってもらいたいです。定時制の大会があるということを、知ってもらうだけでもいいんです。

彦野 そうですね。もっと色んな人に、定時制の大会の存在を知ってもらえたらいいですね。

杉岡 はい。そのためにも、定時性がもっと注目されるように、がんばっていきこうと思います。

彦野 がんばってください。応援しています。

杉岡 ありがとうございます。

彦野 さて、お別れの時間がきましたが、杉岡くん、山内さん、最後に、この学校へ入学して良かったことはありますか。

杉岡 昔、自分は、定時制に入って、少し劣等感を抱きました。でも、その時、仲間ができたことで、「全日制に負けないぞ」と思う人が、たくさんいるんだとわかり、心強かったです。その他にも、良かったことはたくさんありますが、そのなかでも、今言ったように、一緒にがんばる仲間ができたことが、本当に良かったことです。

山内 これまでの小学生、中学生だったときは、朝に登校でしたが、今では、お昼に登校、夜の真っ暗な時に下校という形なので、全日制の小学生、中学生、高校生にはできないような日々をおくっています。全体的に考えると、そこが「入学して良かったな」と思います。

杉岡 さっきから司会をしてきている彦野さん。彦野さんは、この学校に入って良かったことはありましたか。

彦野 私はもともと、全日制に行く予定だったのですが、落ちてしまい、この琴ノ浦に入学しました。定時制は怖いイメージが、私の中にはあったのですが、全くそんなことはなく、全日制とほとんど変わらず、アルバイトなど、定時制でしか体験できないこともできるので、この学校に入って良かったと思っています。

山内 本校は、創立3年目の新しい学校ですが、城内高校のいいところはそのまま残し、尼崎工業高校の新しいものを取り入れ、更に良い学校へと、これから進化していく途中です。

杉岡 定時制高校でも、全日制高校に勝っているところはたくさんあります。琴ノ浦高校は日本一の定時制高校です。今後も、琴ノ浦高校の応援、よろしくお願いします。

彦野 ここまでは、琴ノ浦高校放送部2年生の彦野彩乃と、

杉岡 杉岡陸と、

山内 山内玲音がお送りしました。

彦野 ありがとうございました。

全員 さようなら！

稲村 いかがでしたか。それでは、次回の放送もお楽しみに。

以 上